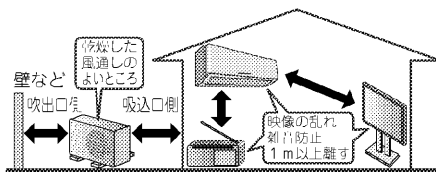
運転前の準備

室内・室外ユニット周辺の確認

■下図の距離をあけないと、エアコンの能力が低下したり、テレビやラジオに雑音が入るおそれがあります。

●設置場所に余裕があれば、効率の良い運転のために、できるだけ広い寸法をお取りください。

■火災警報器と室内ユニットの吹出口は1.5m以上の距離をあけてください。

■加湿器などを近くで使用する際はご注意ください。
加湿の種類によっては水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどの化合物が水と一緒に放出される場合があり、蒸発すると白い粉になります。
このような水分がエアコン内部に入ると汚れの原因になります。

■調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所でのご使用は避けてください。

■床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。（エアコン内部にワックスの成分が付着し、水漏れの原因となります。）ワックス塗布後は十分換気を行ってから運転してください。

■積雪や植木鉢などで、吸込口や吹出口をふさがないでください。

室内ユニットの準備

■光触媒集塵・脱臭フィルターをストリーマユニットに取り付ける。▶12, 13ページ

■電源プラグをコンセントに差し込む

●電源プラグをコンセントに差し込むと、フラップが一度開きまた閉じます。（故障ではありません。）

リモコンの準備

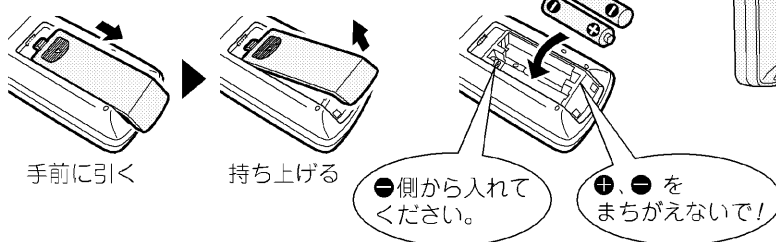
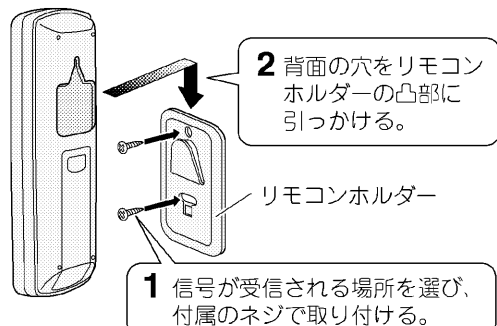
電池を入れる

交換のめやすは約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。

1 電池カバーの マークを指で軽く押さえ、手前に引いて持ち上げる。

2 単４形アルカリ乾電池を２本入れ、電池カバーを閉める。

●単４形アルカリ乾電池以外をご使用になると正常に動作しない場合があります。

●傷付き防止のためリモコン表示部に保護シートを貼っています。使用時はシートをはがしてください。

■壁などに取り付ける場合

ワイヤードリモコン接続時、ワイヤードリモコンからはおそうじサインをリセットできません。
付属のリモコンでリセットしてください。

お知らせ

■上手な使いかたについて

●適度な室内温度設定は節電につながります。

＜おすすめ設定温度＞
冷房時…26℃～28℃　暖房時…20℃～22℃

●窓にはブラインドやカーテンを使用すると、直射日光やすきま風を防ぎ、冷房・暖房効果を高めます。

●エアフィルターの目詰まりは、冷房・暖房効果を低下させ、電気のむだ使いとなります。
２週間に１度のめやすでお掃除することをおすすめします。

■知っておいてください

●エアコンは運転しないときでも、電力を消費します。▶17ページ

●シーズンオフなど、長期間使用しないときは電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

■運転条件

下表の条件以外で運転を続けると、

●安全装置が働き、運転が停止する場合があります。

●ドライ・冷房運転の場合は室内ユニットに露が付き、滴下する場合があります。

ドライ	屋外温度18℃～43℃ 室内温度18℃～32℃ 室内湿度80％以下
冷房	屋外温度21℃～43℃ 室内温度21℃～32℃ 室内湿度80％以下
暖房	屋外温度－10℃～24℃ 室内温度27℃以下

運転のしかた （運転／停止、エコ自動運転、運転切換、温度調節、風量調節、風向調節、サインリセット）

送信部

●送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
●送信できる距離は約7mです。
カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。

受信部

表示部

運転状態を表示します。
（図は説明のため全部表示しています。）

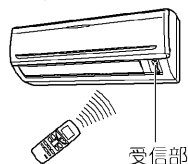
設定温度
自動 ドライ 運転中 快眠 冷房 暖房 空清 標準 88 ℃
18 切 入 時間後 風量自動 しずか 風向 風ないス 内部クリーン

運転／停止

運転するとき

「運転／停止」ボタンを押す。

押すと運転。運転ランプが点灯。
もう一度押すと停止。運転ランプが消灯。

内部クリーンが設定されているときは、内部クリーンランプも運転ランプと同じように点灯／消灯します。

エコ自動運転

自動で運転する

「エコ自動」ボタンを押す。

運転ランプが点灯し、エコ自動運転を行います。

運転切換

運転モードを選ぶ

「運転切換」ボタンを押す。

押すごとに運転モードが切り換わります。

エコ自動※ → ドライ → 冷房 → 暖房 → 空清 → エコ自動※

※リモコン表示は「自動」です。

温度調節

お好みの温度にする

風量調節

お好みの風量にする

エコ自動　運転/停止　運転切換　温度　風向　風量　風ないス　快眠　ストリーマ　空気清浄　内部クリーン　(2秒押し)　切タイマー　取消　入タイマー　サインリセット

風向調節

上手な風向調節でより快適な風を

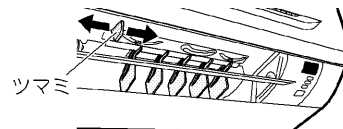
■上下の風向を変えたいとき

運転中に「風向」ボタンを押す。

表示 風向 …フラップ（上下風向調節羽根）が自動で上下に動きます。

表示 …「風向」ボタンを押した位置でフラップが止まります。

■左右風向を変えたいとき

ツマミ

ルーバー（左右風向調節羽根）のツマミを持って左右に動かす。
●左右1ヵ所ずつあります。

サインリセット

内部クリーンランプが点滅したら、

ストリーマユニットをお手入れし、「サインリセット」ボタンを押す。

内部クリーンランプの点滅が終了します。（お手入れのしかた ▶12, 13ページ）

リモコンについて

●落としたり水にぬれないようにしてください。（液晶部が破損することがあります。）
●電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）や、液晶テレビ、プラズマテレビがあるお部屋では、信号を受け付けにくい場合があります。このようなときには、販売店にご相談ください。
●リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

電池について

●電池を廃棄するときは、端子にテープなどを巻き付けて絶縁してください。
（他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因）
●交換のめやすは約1年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、2本同時に新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。
●乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
●付属の乾電池は、最初にお使いいただくために用意しているもので、1年に満たないうちに消耗することがあります。
●液漏れや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。

各運転モードについて

エコ自動運転について

エコ自動運転を行うと、室内・屋外温度に応じて、自動で最適な温度と運転モード(ドライ、冷房、暖房のいずれか)を選び、冷やしすぎ、暖めすぎを防止し、快適性と省エネを両立することができます。

<比較条件(消費電力量は能力により異なります。)>
S22MTES において、エコ自動運転[(暖房)22℃ (冷房)28℃の場合。798kWh]と冷暖房運転[(暖房)25℃設定(冷房)26℃の場合。866kWh]を日本工業規格(JIS C9612)に準拠して比較。

<環境条件>
集合住宅(鉄筋)洋室、南向き中間階、換気回数0.5 回/h、天井高さ2.4m/部屋容積23.8(m^3)相当。
●JISに基づき算出された期間消費電力量とは異なります。

●お好みに合わないときは運転モードを変えてください。

空清運転について

●温度は変えられません。
●送風運転としてもご使用ください。

暖房運転について

●屋外温度が下がり、お部屋が暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。
●屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなとき、霜取り運転のため暖房運転が停止し、風も止まります。フラップが動いているときはフラップも止まります。この霜取り運転(3〜10分間)が終わると再び暖房運転を開始します。霜取りにより溶け出した水が室外ユニットの下に流れ出したり、湯気が白い煙のように見えることがありますが、異常ではありません。

ドライ運転について

●ドライ運転は、弱めの冷房運転と停止を適切に制御して湿気を取ります。
●お部屋の条件、在室人数、屋外温度によっては、室内温度が下がる場合があります。
●リモコン設定と除湿効果、室内温度は次のような関係があります。お好みに合わせて調節してください。

リモコン設定	−2・標準・+2
除湿効果	高　い ⟷ 低　い
室内温度	下がる ⟷ ほぼ同じ

●室内温度より屋外温度が低い場合、除湿効果が低くなります。

お知らせ

●風量設定が「自動」のとき、ドライ・冷房(エコ自動で選択された場合を含む)運転を開始すると、室内ユニットにこもったイヤなニオイを抑える機能が働くため、すぐに風が出ません。約30秒お待ちください。
●「ストリーマ空気清浄」ボタンを押すと、ストリーマの入/切を切り換えることができます。▶10, 11ページ

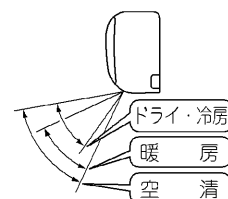
温度・風量調節について

■お好みの温度・風量にする

変更した設定 ＼ 運転モード	エコ自動	ドライ	冷房	暖房	空清
温度 ∧∨	「標準 +5℃」〜標準〜「標準 −5℃」 標準…室内・屋外温度から決定した温度	「標準 +2」〜標準〜「標準 −2」 標準…ドライ運転開始時の室内温度	18℃〜32℃ 【おすすめ温度】26℃〜28℃	14℃〜30℃ 【おすすめ温度】20℃〜22℃	温度は変えられません。
風量	自動・しずか	自動	表示 風量 ■■■■■　自動・しずか 微から強まで(5段階)		

●「しずか」「微」など弱い風量では、十分冷えない、暖まらないことがあります。

風向調節について

●上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるために、暖房運転時はフラップを下向きに、ドライ・冷房運転時は水平に近い状態でご使用ください。
●フラップが自動で上下に動いているとき運転音が変化する場合があります。
●室内温度が設定温度に到達し、室外ユニットが停止している間は、フラップは停止します。
●ドライ・冷房時に下吹きでフラップを停止したまま運転されますと、露が付くのを防ぐために、約1時間後に自動的にフラップの角度が変わります。
●上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。
●フラップが自動で上下に動いているとき、その動く範囲は運転モードに応じて異なります。風向の設定可能範囲はおおよそ下図のような角度の範囲です。

運転のしかた （風ないス運転、快眠運転、ストリーマ空気清浄運転、内部クリーン運転、タイマー運転）

風ないス運転
エアコンの風が苦手な方に

■**風向と風量を調節して、風を直接体にあたりにくくします。**
空清運転以外のときに設定できます。

運転中に「風ないス」ボタンを押す。

■**フラップの向き**
- ●ドライ・冷房…上向き
- ●暖房…下向き

■**風量は「自動」になります。**

操作取消は「風ないス」ボタンをもう一度押す。

快眠運転
快い眠りのために

冷房運転中に「快眠」ボタンを押す。

設定温度と、設定温度より1℃高めの温度との間を「1／fゆらぎ」のリズムで変化させて、快い眠りを誘います。

●風量を「自動」に設定すると、「微」と同じ風量で運転します。

操作取消は「快眠」ボタンをもう一度押す。冷房運転に戻ります。

ストリーマ空気清浄運転
お部屋の空気をきれいにしたい

停止中に「ストリーマ空気清浄」ボタンを押す。

運転ランプが点灯し、単独でストリーマ空気清浄運転を行います。

運転中に「ストリーマ空気清浄」ボタンを押す。

現在の運転を行いながら、ストリーマ空気清浄運転を行います。

ストリーマの解除については11ページを参照してください。

タイマー運転
おやすみ前やお目覚めの時間に合わせて使用すると便利です

タイマーは1回だけの運転ですので、その都度設定してください。

■**切タイマー・入タイマー運転**

（切タイマーの場合）

「切タイマー」ボタンを押す。

運転 ■
タイマー ■
内部クリーン □
運転/停止

タイマーランプ点灯

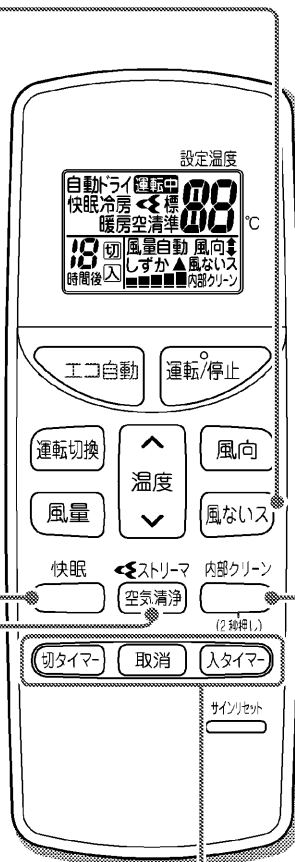
●押すごとに1時間きざみで表示、9時間まで設定できます。

（入タイマーの場合）

「入タイマー」ボタンを押す。

●押すごとに1時間きざみで表示、12時間まで設定できます。

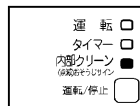
●設定した時間に設定温度になるように、最長約1時間前から運転を始めます。

予約取消は「取消」ボタンを押す。入タイマー予約、切タイマー予約の両方を取り消します。タイマーランプが消灯します。

内部クリーン運転
エアコン内部を乾燥させてカビやニオイの発生を抑えます

お部屋に人がいないときにご使用ください。

■**内部クリーン運転の動き**

フラップが開き、約120分間運転を行います。

●送風と暖房運転でエアコン内部を乾燥させます。

内部クリーンランプ点灯

（自動内部クリーン） 初期設定「切」

「入」に設定すると、ドライ・冷房運転停止後、自動で内部クリーン運転を行います。

エアコン運転中に「内部クリーン」ボタンを約2秒間押す。

●自動内部クリーンが設定され、内部クリーンランプが点灯します。
停止中は自動内部クリーン設定中でも内部クリーンランプは消灯します。

●切タイマーで停止したときは、自動内部クリーン運転を行いません。

（手動内部クリーン）

停止中に「内部クリーン」ボタンを約2秒間押す。

●内部クリーンランプが点灯し、内部クリーン運転を行います。

内部クリーン運転を途中で止めたいときは、「運転/停止」ボタンを2回押す。内部クリーンランプが消灯して、フラップが閉じます。
自動内部クリーンの設定を取り消したい場合は、エアコン運転中に「内部クリーン」ボタンを約2秒間押してください。

ストリーマ空気清浄運転について

●ストリーマ放電のエネルギーと光触媒集塵・脱臭フィルターにより、お部屋の空気をきれいにします。
●ストリーマ空気清浄運転中は、リモコンに マークが表示されます。
●送風運転としても使えます。
●ストリーマを解除するには、再度「ストリーマ空気清浄ボタン」を押してください。
リモコンの マークが消灯します。

お知らせ

●ストリーマ空気清浄単独運転中は、温度は変えられません。
●ストリーマ放電とは酸化力の強い高速電子を室内ユニット内に発生させ、ウイルスやアレル物質を抑制・除去する機能です。（高速電子は、室内ユニット内で発生しますので安全です。）
●ストリーマ放電の「シュー」という音がしますが、異常ではありません。
●ストリーマ放電により微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり健康に支障はありません。

内部クリーン運転について

●送風と暖房運転でエアコン内部を乾燥させるとともに、送風運転時は室内ユニット内にストリーマ放電を発生させてカビやニオイを発生しにくくします。

付着したホコリやカビは除去できません。

自動内部クリーンについて

●エコ自動運転停止後も、運転モードがドライ・冷房のときは、自動で内部クリーン運転を行います。

お知らせ

●内部クリーン運転中は、室内の温度や湿度が上昇したり、また一時的にニオイが発生する場合があります。お部屋に人がいないときにご使用ください。
●屋外温度が24℃以上または室内温度が高くなったときは、暖房運転を行いません。
●エアコン内部の乾燥効果を高めるため、内部クリーン運転中は、フラップが閉じている時間があります。

タイマー運転について

■組合せ予約

切タイマーと入タイマーは組み合わせて予約することができます。

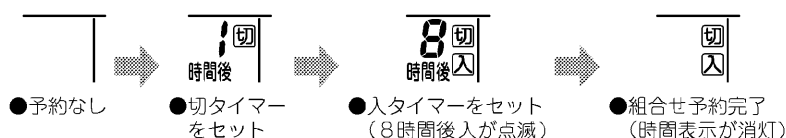
切タイマー予約中に組合せ予約をするとき

「入タイマー」ボタンを押すと、入タイマー予約を追加できます。

入タイマー予約中に組合せ予約をするとき

「切タイマー」ボタンを押すと、切タイマー予約を追加できます。

例）運転中のエアコンを引き続き1時間運転。それから7時間停止させた後、運転を再開させたいとき。

●予約なし　●切タイマーをセット　●入タイマーをセット（8時間後入が点滅）　●組合せ予約完了（時間表示が消灯）

組合せ予約完了時の注意

設定後、予約時間は表示されません。予約時間を確認する場合は、「切タイマー」ボタンまたは「入タイマー」ボタンを押してください。（残時間が表示されます。）

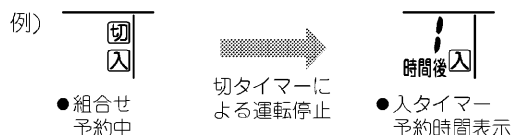
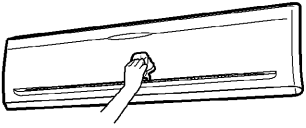
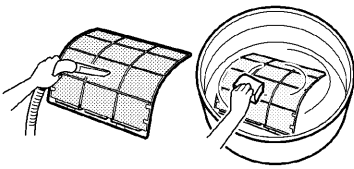
●切タイマー運転を開始すると、約1時間後に設定温度を自動的に変え（冷房時：0.5℃上がる、暖房時：2℃下がる）冷やし過ぎ、暖め過ぎを防いで快適な睡眠を守ります。
●切タイマーを予約した場合、設定した時間よりもタイマーの切れる時間がずれることがあります。
●入タイマーを予約すると、その時間にリモコンの設定温度になるように最長約1時間前から運転を始めます。
●一度入タイマーを予約すると、予約された時間は次回も記憶されています。（リモコンの電池を交換すると、記憶内容は消えます。）

■組合せ予約中に、どちらかのタイマーにより運転、または停止となったとき、残りのタイマーの予約時間が表示されます。

例）

●組合せ予約中

切タイマーによる運転停止

●入タイマー予約時間表示

■次のような場合には、タイマーの設定をやり直してください。
●電源プラグをコンセントから抜いたとき
●ブレーカーが作動したとき
●停電したとき
●リモコンの電池を交換したとき

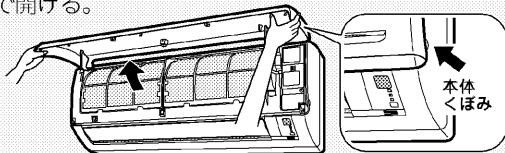
お手入れのしかた

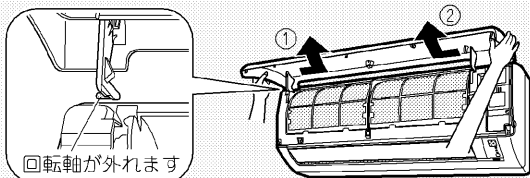
お手入れ早見表

前面パネル	エアフィルター	ストリーマユニット
■汚れの気になるとき ふきとり または 水洗い	■約２週間に１度 掃除機 または 水洗い	■内部クリーンランプが点滅したら、またはシーズンに１度 つけおき ふきとり
		 内部クリーンランプ点滅 ●つけおきの前に必ず光触媒集塵・脱臭フィルターを取り外してください。（下記参照） ①ぬるま湯または水につけおきする。（約１時間） ②布またはやわらかいブラシなどで汚れを落とす。（ゴム手袋使用） ③流水ですすぎ水気を切る。 ④風通しのよい日陰で乾燥する。（約１日）
●水または中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふく。 ●水洗いをした場合は、水気をよくふき取り、日陰でよく乾かす。	●掃除機でホコリを吸い取り、汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かす。	**お手入れ後は、電源を入れて運転しない状態で「サインリセット」ボタンを押してください。**

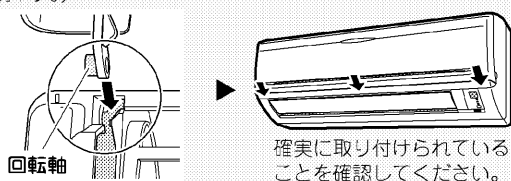
前面パネルの取外し・取付け

1 前面パネルを開ける。

●本体くぼみ（左右２ヵ所）に指をかけ、パネルが止まる位置まで開ける。

2 前面パネルを外す。

①前面パネルを右にスライドさせ、手前に引く。
②前面パネルを左手前に引き外す。

3 前面パネルを取り付ける。

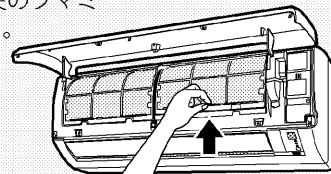
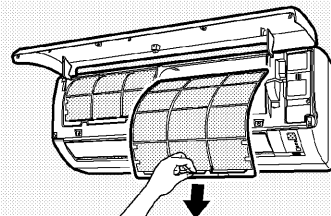
●前面パネルの左右の回転軸を溝に合わせ、奥まで押し込む。
●そのままゆっくりと閉じる。（前面パネルの両端と中央部を押す。）

確実に取り付けられていることを確認してください。

エアフィルター／ストリーマユニット／

1 前面パネルを開ける。

●本体くぼみ（左右２ヵ所）に指をかけ、パネルが止まる位置まで開ける。

2 エアフィルターを引き出す。

●エアフィルターの中央のツマミを少し上へ押し上げる。

●下方向に引き出す。

3 ストリーマユニットを引き出す。

●ハンドルの中央を持って下へ引き出す。